

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和8年1月20日

総務委員会

速報版

- ・ 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- ・ 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- ・ 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午前9時57分開会

○渡辺ひであき委員長 おはようございます。定刻前でございますけれども、皆さんおそろいですので、これから総務委員会を開会させていただきます。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 まず初め、私より記録署名員2名を御指名申し上げます。

太田委員、はたの委員、よろしくお願いいたします。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、請願・陳情の審査に移ります。

5受理番号18 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願を単独議題といたします。

前回は継続審査であります。

執行機関何か変化ございましたか。

○総務課長 特に変化はございません。

○渡辺ひであき委員長 ありがとうございます。

それでは、質疑に入ります。何か質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

次に、各会派の意見をお願いします。

○伊藤のぶゆき委員 継続でございます。

○岡安たかし委員 継続をお願いします。

○はたの昭彦委員 採択。

○へんみ圭二委員 継続です。

○川村みこと委員 継続です。

○渡辺ひであき委員長 これより採決いたします。

本案は、継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○渡辺ひであき委員長 挙手多数であります。よって本件は、継続審査とすることに決定いたしました。

次に、5受理番号26 希望する自治体が職員の定年を65歳から70歳まで引き上げることができる制度を導入するよう国に意見書の提出を求める陳情を単独議題といたします。

前回は継続審査であります。

執行機関何か変化ございましたか。

○人事課長 特に変化はございません。

○渡辺ひであき委員長 何か質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

次に、各会派の意見をお願いします。

○伊藤のぶゆき委員 継続をお願いします。

○岡安たかし委員 継続をお願いします。

○はたの昭彦委員 継続をお願いします。

○へんみ圭二委員 継続です。

○川村みこと委員 継続でございます。

○渡辺ひであき委員長 これより採決いたします。

本案は、継続審査とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 御異議なしと認め、継続審査とすることに決定いたしました。

以下の審査に直接担当でない執行機関の退席を認めます。

〔執行機関一部退席〕

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、所管事務の調査を議題といたします。

D X推進に関する調査についてを単独議題といたします。

何か質疑はございますか。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、報告事項を議題といたします。

(1)、(2)、以上2件を政策経営部長から、  
(3)、(4)、以上2件をあだち未来創造室長から、(5)、以上1件を危機管理部長から、(6)、  
(7)、以上2件を資産活用部長から、(8)、  
以上1件を会計管理室長から報告を願います。

○政策経営部長 恐れ入ります。総務委員会の報告資料、政策経営部の2ページをお開きください。

会議録の作成等に関する基準について、昨年8月の総務委員会で検討の途中結果を御報告いたしましたものでございます。

そのときの御意見を踏まえまして、この項番3のところを再検討してまいりました。

音声データの取扱いでございますが、会議録が正式な記録となりました後は、音声データを破棄することができるということで、(1)、(2)を新たに規定を設けるというものに加えて(3)でございます特に重要なもの、公金の支出、財産の取得処分、契約の締結等、そういったものを決定するような会議体の会議。こちらについては、住民監査請求等もございます。その請求期間については保管する。また訴訟等の対象となっている内容を取り扱う会議等につきましては、その終結まで保管するというので整理をいたしました。

3ページでございます。

適用は4月1日からを予定しております。

また運用状況の中でまた課題等がございましたら、必要に応じてルールを見直していく考えでございます。

続いて、5ページをお開きください。

昨年8月に実施をいたしました世論調査の結果速報値でございます。

6ページ以降に調査結果をお載せしてございます。

まず区政満足度でございますけれども、昨年よりも2.4ポイントアップということで、調査開始後初めて8割を超えるような状況でございます。また区に対する気持ち、愛着、誇り、人に勧めたい共に前年を上回る結果となりました。

7ページ、(3)には特に注力してほしい区の実施とございますけれども、この上位5施策については、昨年度と同様の結果となっております。

別添資料に、その他の項目についておまとめをしております。また今後、詳細に分析をしまして、報告書にまとめるとともに、各施策への反映をしていきたいと考えております。

私からは以上でございます。

○あだち未来創造室長 よろしくお願ひいたします。

政策経営部資料の16ページをお開きください。

まず一つ目、綾瀬エリアのコミュニティ創出に向けたSDGs事業についてでございます。

項番1でございます。

11月29日にぐるぐる博を開催いたしました。

しょうぶ沼公園で、来場者7,000人ということで、ブースが昨年度に比べて倍ぐらい、人数も1,500名ほど昨年増えているという形になってございます。

客層としては、比較的若い方が多くて、ハト公園でやったときよりも、子ども連れとか、子どもたちが多かったのかなと思っております。

特徴、感想については記載のとおりでございますが、出店者、来場者共に満足度が高い事業となっておりまして、これまでの綾瀬の活動の成果が見えてきたとともに、次につながるイベントになったのではないかと考えてございます。

17ページ、項番2でございます。

ぐるぐる博に向けて、アヤセ未来会議として、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

参加者に2チームに分かれていただきまして出展を検討していただきました。

18ページに感想記載でありますけれども、こちらも、参加者の達成度が高く、今後の個人の活動につながる企画になっているのかなと考えてございます。

最後、ぐるぐるKIOSKでございますが、綾瀬で活動した方々の次のステップの場として11月23日、デフリンピックの大会と併せて開催をさせていただきました。

こちら、参加者の皆さんの感想としては、野外でやる違う層に来てくれて新鮮になったと、新しい展開につながる御意見があったのかなと思っております。

今後も引き続き、綾瀬については力を入れて展開してまいります。

続きまして、19ページでございます。

竹の塚のコミュニティ創出でございますが、現在、竹ノ塚の高架下に、トレーラーハウスを活用した拠点づくりを進めてございます。

スケジュールは記載のとおりでございますが、4月に向けて、今準備を進めているところでございます。

また3月22日にぐるぐる博の竹の塚のバージョンを開催いたします。まずは新しい場ができたことを皆さんに知っていただく機会になればいいと考えてございます。

綾瀬エリアの展開も経験も踏まえながら、今後竹の塚にも注力してまいります。

私からは以上です。

○渡辺ひであき委員長 続いて。

○危機管理部長 失礼いたしました。

それでは、危機管理部の報告資料2ページを御覧ください。

件名は、「令和7年度高校生向け自転車カギかけありがとうキャンペーン」の実施結果についてでございます。

本件は、自転車盗対策のポイントの一つである若者への働きかけの取組といたしまして、区内9高校でのキャンペーン実施結果について御報告するものでございます。

高校で、各校で鍵掛けの率を競っていただき、その結果に基づいて表彰や景品をプレゼントするものでございますが、実施から3年目の今年度は、項番2のと通りの結果となりました。

今後の方針でございますが、この後アンケート調査を行いまして、この取組が高校生にどのように届いているのか、響いているのか、そういったことを把握しながら、また来年度の取組につなげてまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

○資産活用部長 よろしくお願ひいたします。

資産活用部の資料をお願いいたします。2ページをお願いいたします。

まず1点目でございますが、旧鹿浜西小学校跡地に関わる進捗状況についての御報告でございます。

まず1点目でございますが、スーパーマーケットの開業時期が明確になりますので、今回御報告をさせていただきます。

3月下旬開業ということでございます。また、スーパーマーケットに付属するテナントにつきましても、テナント名記載のとおり3件ということで、開業時期の方も明記させていただきます。

3ページを御覧ください。

スーパーマーケットの開業に合わせた周辺道路の整備についてでございます。

まず、東側の都市計画道路からの右折レーン、また、店舗に至るまでの間の総合交通の変更、また、南側の道路拡幅については済みということで、3月下旬に合わせて整備を進めているところでございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

「公共施設マネジメントに関する職員向け講習会」の実施結果についての御報告でございます。

12月の8日庁舎ホールで、午前中開催させていただいた内容を御報告するものでございます。

3の講演の概要につきましては、講演者、講演内容は記載のとおりでございますが、別紙1といまして、8ページ、9ページに内容を記載させていただいております。

また4のパネルディスカッションでございますが、テーマ主な内容については記載のとおりでございますが、別紙2といまして10ページから12ページに記載をさせていただいております。

6ページをお願いいたします。

講演会でいただいた3点の御質問について、職員からの質問について記載をさせていただいております。質問、回答については表に記載のとおりでございます。

6番になります。

受講者にアンケート結果を行ったところの結果報告でございまして、こちらの方も別紙3、13ページに記載をさせていただいております。

また、7番でございますが、7月に職員向けアンケートを行った部分と比較について御報告でございまして、こちらの方も別紙4、14ページに記載をしておりますので御覧いただきたいと思います。

7ページにございますが、今後の方針、今後のスケジュールについては記載のとおりでございます。

私から以上でございます。

○会計管理室長 会計管理室報告資料2ページを御覧ください。

会計管理業務委託評価委員会の評価結果でございます。

会計管理業務委託につきまして、評価委員会を開催いたしました。

委託の内容につきましては、庁内各所管から上

がってきた歳入及び歳出に係る書類の点検でございます。

受託事業者パソナ、今回の評価対象は令和6年10月から1年間とさせていただきました。

3番、評価結果でございますけれども、100点満点中、合格ラインを80点と設定し、97.6点という平均点でございました。

3の(2)委員の評価平均点でございますけれども、横軸で1から20まで評価項目でございます。こちら各5点の配点となつてございますけれども、ページを飛ばさせていただいて、4ページおめくりさせていただいてよろしいでしょうか。

こちらの方に縦軸で評価項目、例えば1番点検確認業務の質から20番身だしなみまで細かく点検、確認をさせていただきました。

昨年度、今年度の平均を列記してございまして、比較の方はそれ御確認いただけたらと思います。

3ページに戻ります。

4番委員からの主な意見でございますけれども、(1)、2、3につきましては良い評価をいただいております。レベルの高い業務提供、それから自発的な取組を考えている。評価委員会の実施においてこういうことを行うのはよいことである。

4、5、6につきましては、更なる改善、取組というところで、御発言の方をいただいております。

5、6につきましては、委員会の内容、7番受託事業者に対しましては、更なる改善等を求めて、評価結果の方を★★でございます。

以上でございます。

○渡辺ひであき委員長 何か質疑はございますか。

○太田せいichi委員 報告いただいた内容で、まず足立区政に関する世論調査についてですね。

詳細の分析を改めて報告書が出るということで、そちら詳細の方はそちらを待ちたいと思いますが、特に、回収率について中心に質問させ



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ていただきたいと思います。

回収率が低下傾向にあるのは、これ見て明らかだと思うのですが、これまでの対応、特に調査方法についてなど、どういったことを行ってきたのか、確認をさせていただければと思います。

○区政情報課長 回収率の向上に向けまして、問題数が、今まで120問ばかりだったのが105問ぐらいまでに下げまして回答しやすくするとか、あるいはインターネットの回答を導入するとか、それと併せましてインセンティブとしまして、今年もお米を抽せんで、回答していただいた方に、100名の方に2キロ、魚沼の米の方差し上げるという、そういう形も行いましたが、去年から残念ながら2ポイントばかり下がってしまったという状況でございます。

○太田せいいち委員 ありがとうございます。様々対応を取っていただいているということは確認できたのですが、結果として下がってしまっておりますので、今後の方針についてはいかがでしょうか。

○区政情報課長 調査としましては、やっぱり結構分析をしていきますと、小さい数になってしまうと調査結果が参考値になってしまいますので、回答していただく数を増やしていくような形とは思っております。

今3,000人ですので、これを4,000人に上げるような形とかを検討して回答数を確保してまいりたいというふうには考えております。

○太田せいいち委員 目標については4,000人ということで分かったのですが、具体的な方策については、これから検討ということでしょうか。

○区政情報課長 来年度の調査につきましては、いろいろな角度から、そういうことも含めてか、人数を増やしていくとなると予算額の方も増えてくることになってまいりますので、そういうことと併せまして、検討の方を進めたいと思っております。

す。

○太田せいいち委員 ありがとうございます。

今後、様々検討していただくということがあると思いますので、その上で確認なのですが、現在、大分質問、設問数を減らしていただいたということなのですが、回答に要する時間どれぐらいと今見ているのでしょうか。

○区政情報課長 インターネットと、それから紙の場合とで比較という形ですが、紙の場合ですと、大体、集中して30分ぐらいは掛かってしまうかなというところだとは思っております。

インターネットは、比較的スクロールしてくと、早くは回答できると思うので、もう少し短い時間かなというふうには考えております。

○太田せいいち委員 ありがとうございます。我々も含めて様々な要望があるので、なかなか質問数削っていくのは難しいところはあるかと思いますが、適宜、引き続き設問数見直していただくとともに、今御回答いただいたような、調査に要する時間、これがまず冒頭に入っていることで、そういうことならやってみようかという方もいらっしゃるかもしれないですね。

特にタイパというか、時間を今大切される方多いですので、その辺を工夫する余地があるのではないかなと思うのですが、その点いかがでしょうか。

○区政情報課長 太田委員、今お話しいただきましたように、回答用紙のところの冒頭とかにそのような記載がございませんので、今後そういう形も加えるなど、そういう分かりやすい、回答時間がこれぐらい掛かりますということをお知らせできるような形で努めたいと思います。

○太田せいいち委員 最後要望で、特に、こういったアンケートというか、調査に協力していただける方は、そもそも区の行政に関心が高い若しくは協力的な方が多いかなというふうに思います。やっぱり大事なものは、比較的そうではない方、区に

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

不満をお持ちの方の声もしっかり拾っていくということが大事だと思いますので、その点も含めて、今後様々な工夫をしていただければなというふうに思いますので、要望させていただいて、この点は終わります。

続いて、竹の塚エリアのコミュニティ創出について簡単に何点かだけ質問させていただきます。

今後の方針について地域への個別ヒアリング、若しくはニーズの掘り起こし等を行っていくということなのですが、何をどのように行っていくのかについて教えていただけますでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 拠点を検討するに当たり、職員の方が地域に出向いて飲食店の方に個別にお声掛けしてお話を聞くということを、これまで続けておりますので、オープンしてからその意見交換という場は積極的に、ちょっと営業のようなものにはなるのですが、店舗を訪れてお話を聞くという機会はつくっていきます。

○太田せいichi委員 ありがとうございます。恐らく、地域の飲食店の方を中心にヒアリング等を行っていただいているということかというふうに思います。地域に集まる拠点ということでもありますので、飲食店がメインになるのは理解できるのですが、竹の塚近辺のほかの有力企業、飲食店にかかわらず金融とか、そういったところも含めてヒアリングを行っては、連携をしっかり深めてはどうかと思うのですが、その点いかがでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 すみません、先ほどの説明、飲食店だけではなく区内の事業者とか学生にもヒアリングは行っていますので、幅広い意見を聞けるように今後も気を付けてまいります。

○太田せいichi委員 特に場所柄、東武鉄道との関係は重要なと思うのですが、その点はいかがでしょう。

○SDGs・協創推進課長 拠点をつくるに当たり、東武鉄道とも意見交換はしておりますので、オー

ブン後の情報とか東武鉄道含めEQUiAの関係者にも情報共有しながら進めてまいります。

○太田せいichi委員 ありがとうございます。特に、東武鉄道が更に協力的に前のめりになっていただけると、雰囲気醸成にも更に環境が整ってくるかなというふうに思いますので、特に東武鉄道との関係を更に強化していただけるようお願いしたいなというふうに思います。

併せて、竹の塚地域で様々な活動、清掃活動とか行っている団体もありますので、その辺とも、今後引き続き協力を強化していただければなという点を要望させていただきます。

最後、鹿浜西小学校に関して簡単に確認だけさせていただければなというふうに思います。

入居するテナントで、三つ目クリニックモール調整中とあるのですが、これ調整がいつ頃決まって、いつ頃発表できる予定か教えていただけますでしょうか。

○資産管理課長 今、そこ事業者の方にもちょっと確認してるのですが、まだちょっと未定ということなので、分かり次第、御報告させていただきたいと思います。

○太田せいichi委員 地域からの、すごく期待する声も出てますので、その辺が分かりましたら速やかな発表につながるように、引き続き連携をお願いしたいと思います。

最後、相互通行化と右折の工事、3月末をめどにということで記載がありますが、これ確実に間に合う見込みかどうか、現在の見通しを最後確認させていただければと思います。

○道路維持課長 工期そのものが、工事の工期が3月の18日になっております。工程の中身も含めて、ベルクスさんの方と現在調整しておりまして、終わらせるように進めているところです。

○太田せいichi委員 開業は3月末で決まっていますので、是非間に合うように、うまく進めていただければと思います。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

以上です。

○はたの昭彦委員 おはようございます。私は、何点か質問させていただきたいと思うのですが、まず世論調査の結果の速報についてということの質問、前提として、この世論調査、何というか、こういう選ぶ項目選ぶ集計方法で、質問方法であって、自由記載欄というのは特に設けてないんですよね。

○区政情報課長 項目によっては、自由記載というか、その他という項目がありまして、そちらのところは記載できるような形には仕立てております。

○はたの昭彦委員 今後、速報版なので、今後集計結果の分析と課題の抽出ということで、そういった記入含めて抽出の分析をしていくんだと思うのですが、あとクロス集計とかね。

これを見ていて、ちょっと気になったことがあったのですが、例えば9ページの、暮らしにくいと感じることの上位4項目というふうに抽出されて、強調されているのだけれども、でも結局はこの暮らしにくいというのは11.3%の中の意見ということなのでね。11.3%の中の、例えば住民のマナーやルールを守るという意識が低いとか47.7%、更にその半分ということであると、やっぱりその前の質問のやっぱり暮らしやすいという満足度が高くなっている結果とリンクしてるのかなというふうに思うのですが、

その中で、暮らしにくいと感じることの上位4項目の中で、交通の便が悪いことということで、令和6年度に比べてやっぱり令和7年度は増えるのは、公共交通のバス路線だとか減便になったり、廃止になったりという、そういうことが、こういう結果に影響してるのかなというのか、あと買物がしにくいというのは、近所にお店がないから買物がしにくいのか、それともこういった交通の便が悪くなったことで、買物がしにくくなったのかというようなことも、こういった集計結果の中から分析として出していくことができるのかな

というのをまず思ったのですが、どうでしょうか。

○区政情報課長 世論調査の調査につきましては、経年で追ってるものですから、そのところだけ特化して掘り下げていくという形になると、また先ほどのお話ありましたように、設問数が増えてしまう関係がありまして、なかなかちょっと取り得ないといった形になります。

ただ施策に応じては、今課題になってることとかを掘り下げて行うのは、各所管の方で個別の調査というのをしていくということになるのかとは思いますが。

○はたの昭彦委員 それと、あと8ページの治安が悪いと感じる理由が、前年度の比較ということで、特に街路灯が少なく暗い路地や公園が多いからというのが、前年度7位から5位に上がったということなんだけれども、街路灯が少なく暗い路地が多いというふうなこと言うのだけれども、私、大谷田に住んでるものですから、よく買物とか八潮市とか行くんですけど、足立区から八潮市に入った途端に、非常に暗くなるんですね。荒川区に住んでいる知人なんかも、「いや足立区明るいですよ。うちの荒川区に比べると」と言われるのだけれども。

暗いことで、要は治安が悪い、感覚なので、感覚なので、あるのだけれども、実際にはこの街路灯が少なく、暗い路地が多いから犯罪が多いのかというところでもないような気がするのですが、その辺の認識についてどうでしょうか。

○区政情報課長 なかなか街路灯と治安との因果関係というところまで掘り下げという形はなかなかできないところがあるのですが、はたの委員おっしゃるとおり、東京は一般的には明るいような形ではあると思うのですが、これも結構ずっと続いている質問で、設問でありまして、それを基にして街路灯の整備とか、明るくしてきたという形ではあるかと思ってますので、特にま



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

た公園が、また木が生い茂るとやはり暗くなると  
いうことはよく聞いているところではございます  
ので、そういうところも部分的にあるのかなとい  
うふうには感じております。

○はたの昭彦委員 やっぱり今後の施策に生かすとい  
うことであれば、そういう項目についても細か  
くというか、深く分析して深掘りしていった、政  
策に生かしていく必要があると思うのではないの  
かなというふうに思いますので、意見として上げ  
させていただきたいと思います。

次に、綾瀬エリアのコミュニティ創出のSDG  
s事業についてということで、私も参加させてい  
ただきました。

綾瀬のハト公園でやったときに比べると、やっ  
ぱりテナント数も多くて、来場者数も多くて、本  
当に天気もよかったので、非常にイベントとして  
は楽しいイベントだなというふうな感性を感覚を  
持ったのだけでも。

ただこのSDG s事業の、モデル事業としての  
取組としてどうなのかなという、お祭りの、イ  
ベントとしては楽しいですし、あとこの出展者の  
感想にもあるように、出店の流れも分かり、何を  
これからやるという自信を持ちました。確かに今  
後、何かお店を出店したいみたいな方でいったら、  
こういうことで、きっかけを得て、こういうこと  
でこれからやっていけるなと自信に付くのかと思  
うのだけでも。

SDG sモデル事業の概要というか、国から認  
めたところによると、第三の居場所や活動場所と  
いうことでいうと、アヤセぐるぐるの場所があっ  
たりするのだけれども、このローモデルと出会え  
る機会を生み出す中で、子どもたちが社会とつな  
がり、逆境を乗り越える力を養い、安心して暮ら  
せる持続可能なまちを実現すると。貧困の連鎖を  
断ち切るとかという課題からすると、このイベン  
トが、どういう役割を果たしていくのか、今後、  
先ほど今後につなげていきたいというふうにして

ただけれども、これを貧困を断ち切るというか、  
子どもたちのやり取りの実現に向けて、どうい  
うふうに広げていくのかというのが、私はちょっと  
見えないのですけれども、それについてどうい  
うお考えでしょうか。

○SDG s・協創推進課長 当初から変わっており  
ませんが、私たちが国に提案した内容としまして  
は、自分の好き、得意を生かした、生き生きと活  
躍する大人を増やして、子どもたちのロールモデ  
ルを町なかに増やすことということを国に提案い  
たしました。

そのロールモデルを増やす取組として、ぐる  
ぐる博はじめ、あやセンター、アヤセ未来会議とい  
うものを行っております。

幸い、あやセンターでのやってみたいことの  
実現件数や、ぐるぐる博の出店数からも分かること  
といたら、大人も今増えてきましたので、最近  
では、あやセンターでは、子どもたちのやってみ  
たい企画をやるプロジェクトや放課後に大人と子  
どもが交流する時間をあえてつくる。

ぐるぐる博に関しては、子どもたちが、子ども  
が主催となってイベントを出店するとか、少しず  
つではありますが、大人と子どもが交流する機会を  
つくるようにしております。なので、少し時間は  
掛かってしまいますが、私たちとしては、大人か  
ら子どもという取組を、そこを丁寧にしていき  
たいと考えておりますので、少々伝わりにくいとい  
うものもありますが、今後は、その意図も伝わる  
ように発信をしていきたいと考えております。

○はたの昭彦委員 この前もそういう説明されるの  
だけれども、このイベント、このぐるぐる博のイ  
ベント自体に、やっぱり参加してる人たちが、来  
てる人たちが、そういう取組の一環として取り組ま  
れてるのがやっぱり見えにくいというのがあ  
って、やっぱりそこに参加してる人が、自分た  
ちも今度参加してみたいなという、参加の機会が  
得られるなみたいなのが分かるような取組とし

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

て、広げていくことも大事なのではないかなと思いますので、是非そういう方向性も持って取り組んでいただければ、ありがたいかなというふうに思います。

それと、あと資産活用の公共施設マネジメントに関する職員向けの講演会ということで、ずっと見ていったのですけれども、やっぱり最終的には、パネルディスカッションやった最後の工藤副区長の総括の、全職員が公共施設マネジメントに考えて、全庁的な教育体制を構築していくということが、やっぱり最終ここが肝なのかなというふうに、一部の幹部職員だけで区の在り方を決めるのではなくて、やっぱり職員が、全ての職員が、やっぱり問題を把握して、提案ですとかアイデアを出す中で運営していくという、公共施設の在り方を考えていくというのが大事なのではないかなというふうに、最終的に思ったのですけれども。ただ、その前提としては、やっぱり区民サービスが低下しちゃいけないということが、やっぱり大前提にあるんですね。

公共施設再構築ということで、統廃合も含めた中で、区民が不便になってしまったら本末転倒だと思ふのですけれども、そういう観点で取組を進めていく必要があると思ふのですが、それについてはちょっといかがでしょうか。

○資産活用部長 はたの委員おっしゃるとおりでございまして、やはりサービスをどうやって維持していくか。どうやって向上させていくかというところは、我々の事業の中では、根幹に置いてある部分かと思ひます。しかしながら、また今の社会状況だとか、財政状況を踏まえた上で、何を準備していかなければいけないかというところは、しっかり我々も考えて、今後の取組を強化していきたいと考えております。

○はたの昭彦委員 いろいろなパネルディスカッションの中でも、いろいろな自治体の成功事例ということで出されているのですけれども、この中で、

中村教育長が発言をしている、学校のプールの問題、近隣のプールが民間にある場合には、学校プール新設せずに、民間の施設を活用する検討が必要と。

私も、全ての学校にプールがどうなのかというのは、やっぱりプールの授業が夏が暑くて、屋外にあることでできないですとか、あと屋上にプールを設置することによって、その建物自体の重量を考えると、その柱を★★しかやっちゃいけないとか、はりを大きくなければいけないということもあることを考えると、全ての学校にプールが必要あらなければいけないのかなというのは、考えていかなければいけないと思うんですね。

例えば、千寿本町小学校でしたかにあるような屋内型のプールを、何校かに1個造って、供用して、年間でプール授業ができるような方策ということもやっぱり考えられるでしょうし。

この民間のプールがあるということかというと、葛飾区が何年か前に取り組んでいて、でも結局民間のプールがなくなっちゃったということもあって、新たに今度、奥戸でしたか、どっかにプールを区が造る必要ができちゃったということかというと、やっぱりそういう他の自治体のやっぱり失敗例も参考にしながら、何が一番いいのかということを考えていかなければいけないと思うのですけれども、それについてはどうでしょうか。

○資産活用部長 他自治体の先進事例、はたの委員言われるような、ちょっとうまくいかなかった事例もしっかり我々の方で収集させていただきながら、教育委員会等、プールについては教育委員会等に、そういう情報もお教えしながら、しっかり議論をして、プールの在り方については、今後、教育委員会としっかり調整をして、結論を出していくような形になるのかなというふうに思っております。

○はたの昭彦委員 今事例ではプールを取り上げましたけれども、保育園の問題でも、ただ単に子ど

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ものが少なくなったからといって、二つを一緒にしたら、お子さんを持ってるお母さんたち、お母さん、お父さんが、仕事の前に子どもを通園させなければいけないのに、遠くて仕事に影響が出ちゃうとか、そういうことがあっちゃいけないと思うので、そういった、先ほど最初に言ったような、区民サービスの低下につながる中での施設運営の在り方というのを、是非考えていっていただきたいと思います。要望として言っておきたいと思います。

以上です。

○渡辺ひであき委員長 他に。

○岡安たかし委員 私は何点か、まず世論調査なのですが、今回初めてやったわけではないので、ちょっと今更にはなるのですが、この辺の質問項目に関しては、これどうなの、今回こういう設問を入れる、あるいは見直すか、見直さないかというのは、何か会議体を持ったり、識者を入れてやるとか、そういうことをやるのでしょうか。

○区政情報課長 特に、今、岡安委員御指摘のような会議体をもってということで、設問については検討しているということではございません。

例年、基本的には答えていただきたい、続けている設問と、新規に新たに要望として各所管から出てきてるものを精査させていただいて、取り入れるか、取り入れないかということは検討の方は部の中で行うような形で進めております。

○岡安たかし委員 15ページにも書いてあるこの結果の分析と課題の抽出して、施策や今後の計画づくりに調査結果を反映させていくという意味では、非常に大切な、重要な調査だと思うんですね。

人数に関しては、3,000人から今度4,000人、それでも私まだ少ないと思うのですが、しかも、5割を切っている回答率というところでは、この結果で、例えばですけども上の方を区民は向いているとか、右だ、左だ、下を向

いているとかというのは、なかなかこれぐらいの人数では、本当なのかなというところもあるのかもしれないけれども、一定の傾向性はつかめるのかなと思うんですね。

なので、設問に関しては、かなり重要かなと思いますので、経年で追っていくものは、もうこれは当然やっていった方がいいのしょうけれども、ただ経年で追っていくものも、もういいのではないというのものもあるかもしれませんし、新たなものは部課長会議で、各部や課から、こういうのを聞いてというのはあったらということで上げてもらうというのも大事だと思うのですが、いかがですか。

○区政情報課長 各所管の方には年に一度、この調査をする前にですけども、新規の要望ですとか、あとそれから、これはもう役割を終えたということで削除してほしいとか、そういう要望については、部を通して報告の方をしていただいているような形になっております。

ただ、先ほどお話しさせていただいたように、設問数がやはり多くなってしまうと回答率が下がってしまうという相関がありますので、このところについて、新たなものと言っても、なかなかちょっと取り入れづらいというところが、今現状としてはあるのは御指摘のとおりかなというふうには思っております。

○岡安たかし委員 これ今、別添資料についているのは50数問ですけども、これ全部ですかこれが。

○区政情報課長 問題数としてはこうなってるのですけれども、50何問というふうに書いてあるのですけれども、そのうちに、また回答するものとかがございまして、トータルが105問という形になってるという立て付けでございます。

○岡安たかし委員 さっき30分ぐらい紙ではという話あったのですが、これ個人差あるのでしょうか、私この紙の方でちょっとやったのです

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

けれど10分でした。もちろんこれ、人によって全然、じっくり設問があるところは設問という選択肢があるのをじっくり読んでとまた違うでしょうし、ただ、そう思うとか、思わないとかという、この段階的な回答というのは結構早いのかなと。

僕なんか、その辺なんかも、五、六秒で答えちゃうのですけれども。一個一個しっかり読みながら答えなければいけないのは、やっぱり20秒ぐらい、1問当たり掛かっちゃったり、人によってはもっと掛かるという意味では、30分掛かる人もいるかもしれないのですが、もうちょっと増やしてもまだ大丈夫なのかなとも思うんですね。あるいは、もうしんどかったら飛ばしてくださいというのもいいと思いますしね。その辺は柔軟に、本当に必要なものは、やっぱりなかなかこういう機会がありませんのでね。また別の部署がこういうのをやっても、何か何回も同じことやってるなと思われちゃいますし、是非有効活用をお願いしたいなと思います。

それと、綾瀬エリアのコミュニティなのですから、私も行かしてもらいました。当日晴天で、非常にぎわってて、よかったと思うのですけれども、もともとこれ何だろう、北綾瀬まで入れて、しかも商業施設がオープンするということで、そこも巻き込んだ形で、あれだけ大きな、緑も多くて静かな環境の駅近のしょうぶ沼公園というのがあって、そこを活用するということでは、非常に大事だということでは始まったのかなと思ってますけれども、もともと本当のコンセプト、ここでしょうぶ沼でやったもとの目的コンセプトというのは何なのですか。もう1回改めて教えてください。

- SDGs・協創推進課長 そうですね。ぐるぐる博は、当初ハト広場で2回開催しておりまして、それを見た北綾瀬の住民の方から、是非北綾瀬の方でもやってほしいという、そういうお声をき

かけに北綾瀬で開始しましたので、当課としましてはしょうぶ沼の活用ということではなくて、住民さんの声を聞いてやるということから始まっております。

- 岡安たかし委員 出店されてる方も区民で、非常にほとんど来てる方も区民がほとんどだと思いますし、ウィン・ウィンで皆さんよかったので、あんまりこう後ろ向きな発言は誤解がないように、そういう意味で言っているということではなくて、ちょっと聞いてほしいのですけれども。

何か公園でいろいろな盆踊りやれば、テキ屋さんがいっぱい来ますよね。いろいろなたこ焼き屋とか、ああいうのと同じようにいろいろなお店が来て何かにぎやかにやってるというイメージを持った方が多いのではないのかなと。私も議員という立場ではなく、何かやってると思ってそこ行けば、何かお祭りやってるなあぐらいで、しかもこれ毎年、この時期にやるわけではないと思うんです。

やっぱりこの目的みたいのが、来た人も、さっきちょっとはたの委員も言っていましたけれども、もうちょっとこの何ていうんだろうなあこのぐるぐる博というコンセプトが、出店者の方は多少分かってると思うのですけれども、来た人も、こういう目的で足立区はこういうことやってんだって分かるような何か工夫。そんなのも必要なかなと思って、これは要望です。

何かそういうのを書いた説明みたいな何だ板を用意するとか、何かあっても、そういうブースがあるとか、これはこういう目的でやったんですよとかあってもいいのかなと思いました。

次に、鍵掛けですね。高校生、非常に大事な視点だと思います。相変わらず自転車盗は減らないですし、そこを減らすことによって刑法犯認知件数が減っていくというのは大事なところなのでやってほしいのですけれども。

これ、報告資料見れば分かりますとおり、足立高校



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

以外全部令和6年度よりも減っちゃってるんですよ。もうそろそろ飽きが来たのかな。マックの新鮮味が高校生に薄くなってるかなという、またAを目指さないで、B、Cのがいいんじゃないみたいなのもあった。照り焼きバーガーではなくて、ポテトのがいいよみたいなそんな声もありました。なかなかこれ難しいと思うのですけれども、マックの方の協力が全面的なものだったと思うのですが、もうそろそろもう一工夫というのが必要なと。

やっぱり高校生が、学校ではほとんど鍵掛けない、掛けないからといって、盗まれた事例もほとんどないとは聞いてますけれども、ただそこで、何だろう、習慣を付けてもらうことによって、いろいろなところで鍵掛けるということでは、まず学校で鍵掛けってもらうというのを習慣付けるとこのきっかけではいいと思うのですけれども。

クーポンも、例えばAなんか140円引きですよ。530円払うんですね。140円されど530円払わなければいけないとか、もうちょいここプラスアルファするとか、マック以外のもう一工夫みたいなのを付けるとか、次に向けて、もうこれ★★ないねすごいねと高校生が思うような、何かもう一工夫が今後必要なかなと。

今後の方針にはそういうと書いてないのですけれども、マンネリ化しないように書いてあるのですが、しっかりアンケートを取るとは書いてあるのですけれども、言いにくいことなかなか言わない高校生も増えてますので、来年度に向けてもう一段ブラッシュアップというのが必要なかな、私は思うのですけれども、いかがでしょうか。

- 危機管理課長 岡安委員御指摘のとおり、数字につきましては、どうしても生徒会とか風紀委員の皆さん方頑張ってるのですけれども、校舎の中に止めているところでは、ちょっとマンネリ化してしまってるということが実態でございます。

ですのでアンケートのことも踏まえて、マンネリ化しないような形の習慣化というところは引き続き訴えていくのと、またクーポンの取扱い等につきましては、アンケートを踏まえて、もう少し響くようなものを検討したいと思っております。

○岡安たかし委員 何とぞよろしくお願いします。

次に、公共施設マネジメントなのですけれども、これ私も一般質問でも取り上げさせてもらって、職員の方がこうやってやっていくということも非常に大事だという視点で訴えさせてもらって、こういうことをやっていくのは大事だと思うのですけれども。ただ、301名ですよ。管理職と一般職員合わせて。全職員からいくと1割ぐらいなのではないでしょうか。これ出席は、出席ですよ。出席目標としては最終何人まで持っていきたいと思っていますか。

○資産活用部長 今年度は、300人の方に庁舎ホールに集まっていたということと、今現在動画研修も行っておりまして、300名ぐらいの方に御協力いただければというふうに思ってます。

5年間で、全職員に訴えられるような周知活動できればなということを目標に現在取り組んでおりますし、来年もまた開催させていただきたいと思っております。

○岡安たかし委員 そうですね。公共施設のマネジメント、更新の問題、こういったところを、十分ではなくても分かってる方とほとんど分かってない方。いっぱいいると思います。

もちろん立場によっても違うでしょうし、管理職、また正規非正規とか、パートの方とか、ただ、もうアルバイトであれ、パートであれ何であれ、皆さんがこの更新、もっと言えば、区民全員が公共施設の更新ということに関しての関心というのを持つ。危機、危機は変ですね。コスト意識を持って最終的にはコスト的にはかなり危機になっちゃう。だからこそ今★★しなきゃいけない、そう



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いうところを全区民が頭に入ってる形にしてもらいたいと思うので、これは期待してますのでしっかりと、講演者も非常に有名な方ですし、よろしく願いしたいと思います。

で、6ページの方に、講演会での質疑内容で、(3)に機能性にこだわらず画一化すべきではないか、これ、本当にうそではないのでしょうかけれども、本当にこういうふうに言ったのかなと思っちゃうよこれ。★★てないんですよ。こういうふうに言ったんですか、本当に。

○資産活用部長 こういうような表現をされて、なかなかこの職員の方、今まで、やっぱり施設管理でかなり苦勞されてたようなところがあるようでございまして、そういう部分の中で、何か複雑なものでなく、どこの施設も同じようなものを造ってもらえと、管理する側は極めてしやすいというような感覚をお持ちの方だったので、こんな御質問だったのかなと思っております。

内容については、そのとおり記載をさせていただいているところでございます。

○副区長 実は、ほかの自治体で、ほとんど同じ規模の学校を建てるときに、同じ設計を使って建てるところあるんですね。そこを例に、多分その人はそういう知識があって、それを質問したというふうに思います。

○岡安たかし委員 なるほど。デザイン性はともかく、機能性というのは、これは重視しなければいけない話なのでね。講演会を通した後、聞いた後なので、少し理解がまだ十分ではなかったのかな。また、その講演会というのも、一方通行で聞いてると眠くなっちゃったりしてもあるので、講演会のやり方も工夫、クイズを入れるとか、眠くならないような工夫とか、やることによってもっと理解も深まれば、機能性にこだわらないなんていうこういう話も出てこなくなるのかなと思ったのでちょっと質問させていただきました。

いずれにしても本当に足立区の財政の、本当に

根幹に関わる話ですので、しっかり職員、また区民の方に御理解いただけるように、これからもやってもらいたいと思います。

以上です。

○伊藤のぶゆき委員 聞こうと思ったことは、各委員方がいろいろ聞いたので、私からも1点だけ。

このカギかけありがとうキャンペーンなのですけども。目的は、もともと何で始まったのでしたか。

○危機管理課長 高校生の無施錠の率が高いというところで、鍵掛けの習慣化を目的に始めました。

○伊藤のぶゆき委員 要は鍵を掛ける癖を付けたいということで、調べてると思って、数字が下がってしまってるということもあるのですけれども。

これクーポン配布してますけれども、この政策の費用はどれぐらい掛かってるのですか。

○危機管理課長 事業全体の予算は約170万円でございまして、クーポン券の印刷が100万円と、あと記念グッズが約70万円程度でございます。

○伊藤のぶゆき委員 そうすると、さっきちょっと見てて計算したのですけれども、記念グッズ70万円とか、ビュー坊の縫いぐるみが70万円掛かるということですよ、多分。

○危機管理課長 そのとおりでございます。

○伊藤のぶゆき委員 そしたらシンプルに、各要するに一番いいところに1,000円のクーポン券、QUOカードか何かあげますみたいな。

要は、結局、鍵を掛けてもらえれば、要は学校でも鍵を掛ける癖が付けば、家の下でも鍵を掛けるし、いろいろところで鍵掛けということで、長い目で見れば多分先行投資になると思うんですよ。

足立高校に関しても、見たら生徒数は約900名ぐらい。1人に1,000円配っても90万円ぐらいですので、結構ビュー坊のお金、ビュー坊好きですよ。僕、ビュー坊好きですけども、ビュー坊とか、QUOカード、岡安委員が言ったよ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

うに、Cのドリンク各種M100円を持ってマックに行くんだったら、110円か120円で、そこから辺でジュース買うと思うんですよ。

結構、高校生の方がシビアだと思うので、やっぱりこれに関しては、長い目で見たときに、先行投資という意味では、子どもたちが、足立区がこういったキャンペーンをしていて、みんなで鍵を掛ければ、要は、言い方悪いですけども競争心をあおって、要するに、うちの学校は1番になれたんだと。逆に言えば、1番以外出さなければ、1番の学校だけに払うお金で済むわけですから、それで、子どもたちが競えば、要は3年間そういう癖が付けば、要するにどこ行っても、かぎ掛けるわけではないですか。そういうことなので多分、これに関しては、もう少しその費用の分配をしっかりと考えて、来年度以降の方がいいのではないのかなと思いますけれどもいかがですかね。

○危機管理課長 伊藤委員御指摘ありがとうございます。是非ちょっと、何か内部で検討してまいりたいと思います。

○伊藤のぶゆき委員 私も数年前に自分の家の下の駐輪場で鍵掛けしないで盗まれてしまった本人でございますので、やっぱり癖付けなんですよ。偉そうに私言ってますけれども、やっぱり癖付け、掛けない人は掛けない癖が付いちゃってるし、掛ける人は掛ける癖が付いてるので、高校生の頃から掛ける癖が付けば、やっぱり大人になっても掛けると思うので、これは、もう少し考えていただければと思います。

あともう1点だけ、これちょっと質問と少しあれなのかなと思ったけれども。旧鹿浜西小学校跡地の件についてなのですけども、これ相互通行に変更と書いてあるじゃないですか道路、これちょっとと私、昔、交通対策の課長か部長に聞いたときに、一方通行を相互通行にするのに、道路に掛かっている方々の全ての同意が必要だと聞いたことがあるのですけれども。これは、この相互通行

になるのはそういった手順を踏んだのか、それとも今は違うのかだけちょっと教えてもらいたいのですけども。

○道路維持課長 もちろん実際に、当時の担当職員が全ての沿道の方を回っています。厳密に言うと、100%とは言い難いのですが、おおむねの方の御了解を得た上で警察とも協議を進めていたというそういう経緯がございます。

○伊藤のぶゆき委員 今後、要するに足立区で一方通行を相互通行にするのは100%の同意ではなくて、おおむねの同意が取れて警察と協議して、警察がオーケーを出せば、一方通行のところ相互通行にできるという認識でいいですか。

○道路維持課長 申し訳ございません。私は道路維持の課長なので、実際に、相互通行を一方通行の規制は、警察の所管になりますので、ここで何%なら大丈夫とか何%だと駄目だというのは申しあげられませんが、ただ、今回の相互交通化の件に関しましては、ほぼほぼ100%の方から御同意をいただいているという言い方になります。

○副区長 警察は、当然沿道の方100%からもらえれば、一方通行の解除は可能ですよという話がありますけれども、まず、町会・自治会さんの同意とか、沿道の方のおおむねの同意をいただいて、交通安全上大丈夫ということであれば、これまでも一方通行を相互通行にしたケースはございます。

○伊藤のぶゆき委員 100%ではなくて町会・自治会とか地域の御理解がある程度あれば相互通行になるということでもいいですね。

○渡辺ひであき委員長 こともある。

○伊藤のぶゆき委員 こともある。こともあるということ、ならないこともある。

○副区長 決まりをはっきり言って何%というのはないです。ですけども、おおむねの合意があって、警察もそれで交通安全上大丈夫という判断をしてもらったときに相互通行になるということです。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

今回は、ちなみに事前に町会・自治会さんのところにお邪魔して是非それやってほしいということと、沿道の方全員に回って、一、二名程度、どうかなという御意見いただきましたけれども、特に強い反対なかったので、相互通行ということで、警察が判断したものでございます。

○渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

○へんみ圭二委員 会議録の作成とそれから音声データの取扱いについてなのですけれども、この音声データについては、会議録を作成したら廃棄できるということが昨年の8月の段階での案だったと思います。それを受けまして9月に本会議の代表質問で、やはり音声データは重要性に応じて保管をすべきではないかということも質問をした結果、今回前進をしたのかなというふうに感じております。

併せて9月の代表質問の際に、公文書管理条例について規定をすべきではないかという質問をしました。そのときには、この公文書管理条例の制定するかどうかについては、令和8年4月頃までに整理し、条例として定めるかどうか方針を決めるということであったのですが、もう令和8年の、今、1月終わりですから、この公文書管理条例についての制定については現状どのような考えでしょうか。

○総務課長 現状今こちら総務課の方で、条例の改正の内容の検討を今、中で詰めているところでして、これから一旦中で4月中の方針の確定に向けて、一旦中間の内容で一旦区内の中で1回整理していこうということで考えているという、そういう状況の進捗でございます。

○へんみ圭二委員 9月の代表質問ときに、4月までに整理をするということだったのですが、これ今、整理している中で、制定に向けた方向で進んでいるという理解でよろしいのですか。

○総務課長 今の総務課の中では、他自治体の内容なども拝見の上で、★★ところの内容も含めて、

定める方がより条文の方が、条例化した方が文章の方より適正な★★につながるかもしれないとは考えているところでございますが、そこも含めて今、一旦、骨格のところを今、まずはおおむね詰めていこうということの状況でございます。

○へんみ圭二委員 その答弁の中でも、令和6年には内閣府から、住民共有の知的資源は条例で定めることが望ましいとの見解が示されているという答弁もありましたし、それを、その状況を受けて、東京都、それから23区の中でも制定をしている自治体というのは増えてきてますから、それも踏まえた上で、区としても、私としては、条例制定に向けてしっかりと進んでいくべきではないかということは申し上げたいと思います。

次に、ぐるぐる博についてなのですが、これぐるぐる博が、綾瀬でやっていたときは、1, 300万円ぐらいでしたか予算が、ちょっと綾瀬でやったときは幾らで、今回のしょうぶ沼公園のときは予算が幾らなのか教えていただきたいと思います。

○SDGs・協創推進課長 すみません、ただいま手元に数字がないため、後ほど御報告させていただきます。

○へんみ圭二委員 その開催結果を御報告いただくときには、その費用対効果が必要かなと思いますから、その辺りは是非準備して委員会に臨んでいただきたいなと申し上げます。

結局、このぐるぐるができたのが2023年で、5年後には自走できるようにということで考えられていたと思うのですが、5年後に向かって、もうそろそろ2年半という状況にありますから、5年後、5年後とかもう2年半後、3年後ぐらいに自走するという方向性で、今ぐるぐるでは進んでいるのでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 自走の在り方については、ちょっとまだあやセンターの運営状況を見ながら、センターとも検討を重ねている状況です。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

その施設自体の自走ということもあるのですが、まず住民たち、ぐるぐるを使って活動してる人たちが自主的に活動するそういう人の自走ということに、まず手を付けて今進めている状況でございます。

○へんみ圭二委員 ちなみにこのぐるぐるは、年間でどれぐらいの予算で運営されてるのですか。

○SDG s・協創推進課長 毎月240万円程度の委託費が掛かっております。すみません、ちょっとすぐ数字が出ないのですが。

○へんみ圭二委員 大体3,000万円弱ぐらいかなというふうに思うのですが、5年前、2023年に開設したときには、5年後の自走に向かって、自走できるようにということで、評価委員会の中でも、自走できるような状況に持っていくために早めに準備を進めるべきだという話があったのですが、この自走に向かっての準備というのは、今どのようなことが進められているのですか。

○SDG s・協創推進課長 施設がJRの方から役所が借りるのでしたら3分の1の費用で貸しますよという条件があることや、一応やってみたいことにチャレンジするということなので、施設の利用料自体も高くは設定できないというそういう壁がある中で、今どうしていくかというのもちよっと考えてはおります。やっぱり運営する中で出てくる課題、自走に向けてちょっと厳しいと感じる面も出てきてますので、今整理をしてる最中です。

○へんみ圭二委員 年間3,000万円掛かっていて、自走するためには、やはりそれぐらいのものはつくれるようにしないといけないという状況だと思うのですが、現在の収支状況ですとか、人件費でどれぐらい掛かってるかとか、そういう状況がこちら側には全く見えてこないものですから、その辺りについてもしっかりと議会と共有しながら、5年後に自走できないにしても、区が関わるのはどういうふうに関わるべきかということ、

今から準備していく必要があると思うのですが、その辺りについてはお考えはいかがですか。

○SDG s・協創推進課長 毎月の収支は出しておりますので、改めて委員会等で報告させていただきます。

○へんみ圭二委員 竹の塚で今度、コミュニティをまた新しくつくっていかうということですが、そちらについては、その自走を目指すということではなくて、直営で、コミュニティビルダーの方を★★で使ってということとずっと進めていくという認識でよろしいのですか。

○SDG s・協創推進課長 期間はちょっとまだ未定なのですが、直営でやっていく予定です。

○へんみ圭二委員 分かりました。綾瀬の状況と竹の塚の状況というのをまたしっかりと見比べながら、よりよい方向にお互いがいけるように、こちらにも情報提供をこれからもいただければと思います。

あとは世論調査についても、やはり私も、回収率が下がっているということは、非常に気になりましたので、令和3年度からの報告書を全部チェックをしまいいりました。

特に、男性の18歳から29歳の有効回収率というのが、この令和3年のときには30.6%あったのが、前は21.1%ということで、もともと低かったものが更に低くなっているのですが、今回は若い男性の回収率というのは幾らぐらいになってますか。

○区政情報課長 若い男性の回答率というところについてですが、今のところまだ集計というのでできてないところがございます。3月の段階のところでは、集計の方は確定させてまいりたいというふうに思っております。

○へんみ圭二委員 前回は21%ぐらいになってしまっていますから、全体的に下がってる傾向を見ると、もしかしたら20代までの29歳までの男性の回答というのが10%台になってしまってい



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

る可能性が高いのではないかなと思います。

今までの報告書の冒頭に、区長がはじめにということで常に書かれているのですが、★★ですか、★★にはインターネットによる回答を可能にしたけれども6ポイント下がってしまった。

それから52回のときには、設問数が128問と多く、回答に時間を要するということを区長自身も認められているということで、次のときには、全105問にしたのですけれども、それでもやっぱり回答に時間を要する調査であるからということで、調査開始以来初めて50%を切ってしまったということでした。

その105問というのは、今回、同じ設問数ですけれども、これは回答率を、回収率を上げるための方策として、回答数は減ってないですし、設問数減ってないですし、先ほどお米でしたか、配るということがあったと思うのですが、それが功を奏していないということを考えると、やはりもう少し手を打つべきことは幾らでもあるのではないかなと思うのですが、その辺りはどのようにお考えですか。

○区政情報課長 今、23区の世論調査の方の回収率も調べておりまして、その中ではやはり50%を超えてるところは2区しか今のところないような状況です。

30%台のところも結構多かったりということとか、あとそれから毎年取ってるところが少なくなってきたりしまして、2年とか3年とか、データとしましては、それほど推移として大きく数字が変わるというものではないのですけれども、ただ、我々としては、やはり経年で数字取る、治安とか、震災の対策ですとか、そういうものについてはやはり毎年取っていくべきだろうというふうな形だとは思っております。

今、へんみ委員おっしゃられたとおり、その設問数との関係性で、もう少し減らしたいところもあるのですけれども、先ほど、岡安委員からも

御指摘ありましたとおり、聞くべきことを聞いているのかという話もありますので、そういうところの兼ね合いで、あまり極端に減らせられないというところも、ちょっとジレンマとしてあるところでございます。

○へんみ圭二委員 この調査には幾ら掛かっているのですか。

○区政情報課長 650万円ほどが決算額として計上させていただいております。

○へんみ圭二委員 650万円を掛けた調査も、半分以上の方に答えていただけないということで、ほかの区が30%台もあるというお話だったので、すけれども、やはりそこは下を見ないで、できるだけ高めていくということをもっともつとやるべきではないかなと思います。

実際に調査について、せっかく回答していただいた方々に、何かこう返事というか、これだけの結果が出て、それを今後の区政運営にどのように生かすということについては、お知らせというのはされているのでしょうか。

○区政情報課長 インターネットの方では、もちろんこの結果については公表するような形で御案内の方をしております。

またどのような形でこれを施策に反映させていくかということにつきましても、こちらについても、報告の方、各所管の方からもらって、その内容についてもインターネットの方で上げるような形で、このような形で回答後に活用されているということについても御報告の方させていただいてるところです。

○へんみ圭二委員 これは一つ提案なのですけれども、インターネットで公表したと言っても、恐らくなかなか見てもらえませんか、せっかく答えていただいた方には、紙で答えていただいた方には、郵送でも、ありがとうございますということで、しっかりとその調査結果というのは報告するというのも、せっかく何十分も掛けて答えて



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

くださった方々に対する誠意だと思います。

それから、あともう一つ、その回答するモチベーションを高めるためのインセンティブとして、お米をというお話がありましたが、先日もお米券配るかどうかという話があったときに、若い男性から、お米券もらったところで自炊しないから、お米買わないしという話がありました。それを考えても、やはり若い男性の回収率が低いのであれば、お米券ではなくて、もう少し若い人たちも回答してみようかなと思うようなインセンティブの設定の仕方というのが考えられないのかなと。

例えば、花火大会のペアチケットですとか、何かでは答えてみよう、考えてもらえるような在り方がもう一度再検討すべきでないかなというふうに思うのですが、その辺りはいかがですか。

○区政情報課長 今、へんみ委員御指摘のありました、若い男性に特化するような形がちょっと取り得るのかも含めまして、ほかのところの回答数も、全体的には下がっているのが現状としてはございますので、その中で取り得る方法というのと、それから費用対効果があるものについて検討の方を進めたいと思います。

○へんみ圭二委員 これで終わりにしますけれども、若い男性に特化してくれというわけではないですけれども、ただ数を見ると、若い男性の回答数というのは多分50とか60とか、60もないぐらいになってしまうと思うんですね。高齢者の方々の回答数がやはり圧倒的に数が多いですから、そうするとこの結果というのは、高齢者の方々の意見がより反映されたという結果だというふうにも言えるような状態になってしまいますから、それは、もう少し、この回答結果というのが、全年代からの公平な数字として見えるような状況に是非持っていっていただきたいというふうに思います。

以上です。

○川村みこと委員 まず綾瀬エリアのコミュニティ

創出について伺います。

ぐるぐるKIOSKについてですけれども、これは今回の開催を踏まえて、今後はどのような頻度で、どのように開催していくのか、お考えがあればお聞かせください。

○SDGs・協創推進課長 今後は年3回のペースで実施できればいいなと思っております。

主体となるのは、やっぱり出店者の方々なので、その方々とお話をする中で、回数とかも今後決めていきたいとは考えております。

○川村みこと委員 出店者は、どのように年3回のものはどのように募っていくのかを、今のところの考えを教えてください。

○SDGs・協創推進課長 KIOSKも最終的に住民の自主的な運営を目指しておりますので、まずはそのあやセンターとかアヤセ未来会議、ぐるぐる博で出店された方の中から、今後運営を担っていけるような方に参加を募っていきたいです。

その後、ある程度その運営側の体制が整ってきたら公募して、もうちょっと門戸を広げていくという、ちょっと順を追ってを考えております。

○川村みこと委員 分かりました。今後は、公募にしていく考えもあるということは是非お願いしたいと思うのですが、せっかくこれ来ていただいて、自分もやってみたいというふうに思っても、今は、こういうふうにもう既に活動してる人ではないと難しい、こちらから声掛けのみというふうになってしまうのは、私無理なのねというふうになってしまうと、そこら辺もったいないというふうに思いますので、是非タイミングを見て広く公募していただきたいなというふうに思います。

竹の塚についてなのですが、北綾瀬のぐるぐる博は広く公募しましたが、これ竹の塚2回目ですが、今回もその運営側で選定したというこの経緯についてはいかがでしょう。

○SDGs・協創推進課長 選定したというよりは、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

拠点を竹の塚に関しては、拠点をつくるに当たって、事前にヒアリングを行って協力してくれた方々にお声掛けをしたことになっております。

まずは、そのぐるぐる博を実施するというよりも、竹の塚の拠点を周知するというお披露目がメインですので、やっぱそれに立ち上げに協力してくれた方々とか、そのターゲット層、10代、30代の方を中心に集めて、まずはやってみるということを考えました。

○川村みこと委員 分かりました。今は立ち上げというところだと思いますので、たけのつカー&パークですね。この立ち上げだというふうに思うので、これでいいのかなというふうに思うのですけれども、是非今後は、竹の塚で活動する人がどんどん増やすという意味では、やはり公募したりですとか、そういうふうに広くやっていただきたいなというふうに思いますので、よろしく願いしたいと思います。

最後に少しだけ伺いますけれども、カギかけありがとうございますキャンペーンです。

ほかの委員の★★方からも質問出ておりますので少しにしたいと思うのですが、これビュー坊縫いぐるみは、すごいモチベーションに高校生の皆さんにはなったのでしょうか。どうなのでしょう。

○危機管理課長 非常に人気があります。モチベーションになっております。

○川村みこと委員 分かりました。なかなかビュー坊を知らない人はいないと思いますけれども、若い高校生の子たちがビュー坊を欲しい、どうしても鍵掛けてもらおうというふうにちよつとなるのかなという疑問を、私もちよつとあったところではあります。是非ちよつとそこは御意見を伺いながらやっていただきたいなというふうに思います。

クーポン券の内容については、ほかの委員の皆さんからも出てましたので、それは是非また、今後の課題にしていいただきたいなというふうに思う

のですけれども。

私は、そもそもの問題として、施錠率に応じて、全校生徒にプレゼントをしているというところで、鍵を掛けて、実際いない人でも、施錠率が高い学校だったら、比較的好いクーポン券もらえたりするわけなのですね。何かこう、要するに他人事というか誰かがやってくれるだろうとか、逆にその逆で、いやうちの学校はもう私が頑張っても、ほかの人全然掛けてないから駄目だろみたいな、ちよつと諦めの気持ちになってしまうというところもあるかと思います。

スキーム的にやっぱり難しいところあると思うのですけれども、その掛けてる人に対する何か、バイネームですね、この人は掛けてるからこれを渡すとか、その掛けてる人に対して、学校対抗ではなくやっていくというところが、そういう視点も必要なのではないかなというふうに思うのですけれどもいかがでしょうか。

○危機管理課長 川村委員御指摘の視点につきましても踏まえて、何かしら庁内で検討してまいりたいと思います。

○渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

○太田せいいち委員 すみません1点だけ、情報連絡。

○渡辺ひであき委員長 それは。

○太田せいいち委員 後で、ごめんなさい。

○渡辺ひであき委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○渡辺ひであき委員長 質疑なしと認めます。

————— ◇ —————

○渡辺ひであき委員長 次に、その他を議題といたします。

何かございますか。

○太田せいいち委員 すみません、情報連絡で刑法犯認知件数の情報をいただいております。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

これについては、もうこれまでも様々議論していか減らしていくかというお話はあったので、それを置いて、実際増えてる現状の中でどう区民を守るか、特に弱い立場の子どもをどう守っていくかというところがちょっと今気になってます。

まずこのデータなのですけれども、被害者の方が、特に子どもの年齢層でどれくらい増えてるのかどうなのかというのを分かればと思ったのですが、そういったデータの取り方は可能なのでしょうか。できそうでしょうか。

○犯罪抑止担当課長 今ちょっと手元にないので、お答えすることは、ちょっとすぐにはできないのですが、警視庁の方で、年度で1回、各警察署ごとに少年犯罪の検挙件数ですとか、そういったものを公表してますので、足立区内でこういった犯罪が多いのかですとか、そういったことは公表しておりますので、把握はしております。

○太田せいいち委員 是非そういった分析結果も一度見てみたいというふうに思いますので、機会を通じて是非、データを出していただければというふうに思います。

どう守るかということでは、これちょっと学校指導課になっちゃうと思いますので、防犯ブザー学校の方で、子どもたちに持たせると思うので、そこはしっかり使えるかというところを危機管理の方とも連携して、今後進めていただきたいなというところを要望させていただくと、それと最後、個別案件で確認をさせてください。

11月、12月に、小・中学校に侵入盗があったかと思います。伊興小と竹の塚中学校で、侵入されて盗難があったということがあったというふうに思います。

これも所管が教育指導課なので、あれなのですが、警察が調査しているということだったのですが、何か学校の隙間から侵入されたという報告いただいています。その辺、危機管理課と情報

共有できているか、若しくは警察のその後の捜査内容とか把握してれば教えていただければと思ったのですが、

○犯罪抑止担当課長 私としましては警察出身ですので、報道以上のことはちょっとここでお答えすることはできないという立場ではございますけれども、ただ太田委員おっしゃいましたとおり、そういった無施錠のところから入って、それで学校の中の更衣室ですとか、そういったロッカーの中からお金を取ったというのは報道で出ておりますので、そういったところだと思います。

○太田せいいち委員 分かりました。その辺も、特に学校ではありますけれども、危機管理課とも連携して学校の安全対策を、特にこういう事件があったときに意識を高めていただくという意味ではいい契機だと思いますので、是非こういうのを使っていたらいい、子どもたちの安全の強化を努めていただければと要望させていただいて終わります。

○へんみ圭二委員 私は、区内刑法犯の認知件数の現状について、5ページに、区内警察署の別の状況というのがグラフがあるので、これを見ても前回もお話がありましたけれども、千寿小、西新井小、竹の塚小は、前年に比べて全部マイナスか、プラマイゼロになっているのに、綾瀬警察だけ152件増えてるということで、ここはやっぱりもっと対策を強化していただく必要があるのかなと思うのですが、今の状況でも、そこは対策強化していただいていると思いますが、どのようなことをやっていただいている、まだ足りないということであれば、今後どのようなことを考えられているのでしょうか。

○犯罪抑止担当課長 綾瀬管内のプラス152件の現状としましては、自転車盗と特殊詐欺が要因かなというふうに捉えております。その中で12月につきましては、自転車盗対策としまして、通常各警察署に1台ずつ青パトを運行してるのですけ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

れども、綾瀬だけ更に1台を追加して2台で、特に発生の多い駅周辺に対して徒歩パトでしたり、あるいは駐留をさせて音声で流したりですとか、そういったことを取組としてやってまいりました。

私自身も、綾瀬駅の東側の交番の前の大きい駐輪場があると思うのですが、そこにも無施錠の自転車が100台近くありましたので、そこに対しまして犯人に犯行をちゅうちょさせるような啓発札を100台に、私自身取り付けてまいりましたし、それを1週間だけではなくて、次の週もまた行って取り付けたりと、そういう形をしてまいりました。

警察署との連携をしまして、警察の方は取られてばかりでは、被害者が損するので、検挙対策に対して特に力を入れる、職務質問をして犯人を捕まえるという話をさせていただきましたので、検挙と防犯の両輪で対策をしていきたいなと思っておりまして、また朝の通勤通学の時間帯に鍵を掛けてない人がやっぱりいらっしゃるの事実ですので、そういった方に、朝、青パトで区営の駐輪場の前に立っていただいたりですとか、そういった形で、是非鍵を掛けていただくということを、今後も周知をしてやっていきたいなというふうに思っております。

○へんみ圭二委員 いろいろと努力していただいているというのは非常によく分かりました。それ結果がどれくらい出てるのかなというところは気になるところではあるのですが、引き続き、努力は更にしていただいて、もう綾瀬だけが犯罪増えているという、この何ていうのですか、汚名を返上できるように是非していただきたいなと思います。

そうなんですよ。防犯・防火キャンペーン、私も参加させていただいて、そのときに伊藤委員とも話していて、例えば、東綾瀬公園に自転車を置けるようになってますけれども、そういう自転車ガチャッと止めただけで、鍵閉めてない人たちが

が結構いるんだという話も聞いて、確かにそれピッとやれば出しちゃえますから、そういうことがあるんだなということを考えると、そこについての対策というのも、もう少し取れないかなということを考えるのですが、その辺り何か考えられていることありますか。

○犯罪抑止担当課長 そうですね。自転車盗につきましては、今までですと、結構被害者側の視点で、鍵を掛けてくださいねというのも結構厚くしてたというところはあるのですが、攻める防犯として、犯人に犯行をちゅうちょさせるような、要はちゃんとあなたのことを見てるんですよという、そういった方法を周知をしていきたいと思っておりますし、また駐輪場につきましては防犯カメラは付いてるのですが、防犯カメラは、ちょっと向きが、ちょっとこれまずいかなというところも、私自身回ったときに気付いた点もありましたので、そういったところにつきましては交通対策課の方と連携をしながら、特に綾瀬を中心に活動していきたいなというふうに思っております。

○伊藤のぶゆき委員 警察出身ということで、ちょっと少し難しい質問をさせていただきたいのですが、今地域によって、実はさっき言った自転車盗、綾瀬小が増えているということなのですが、ある地域で、中学生とか高校生とかが飲酒したりとか、喫煙したりとかという声が結構入ってきます。夜、自転車で走り回ったりとか、それこそSNSを見ると、危険なウイリー走行したりとか、そういった子たちが自転車盗をしている可能性も大分高いと。

当然、現行犯では捕まえられる。地域の人で警察が来ても、結局、夜遊んでるだけなので、家に帰りなさいということで、なかなか捕まえることもできない、学校も困っていて、親御さんに、学校に来て話をすると、私たちも手が付けられない。ただ中には、親は家にいないけれども、祖父



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

母が家にいるから、虐待とかそういうことにもならないということで、地域が困ってます。

こういった方々が、そういった子どもたちに警察がどこまで指導ができるのかということがあるのですが、もう少しそういった明らかに現行犯ではないけれども、本当に、もう言葉はよくないですけれども、悪いこと犯罪までしてくれるんだったら捕まえられるけれども、そこまでいなくて、地域でも、結局、少し怖いから注意はし切れない、警察が来てももう警察に対してばかにしてるような態度を取っているという子たちに対して、犯罪抑止担当課長がなかなか答えるのは難しいことかもしれないのですが、もう少し警察が抑止力として、犯罪までもいなくても、sonだけ地域で迷惑を掛けて、明らかにそれが固有名詞まで分かっているという事件に対して、もう少し警察が対応していただきたいと思うのですが、けれどもどうですか。

○犯罪抑止担当課長 実際、綾瀬警察署は、非常に一生懸命取り組み、少年犯罪、少年の犯罪に至らない行為も、非常に前向きに一生懸命実はやっております、その中でも少年補導というのがあるのですが、それはもう飲酒ですとか、深夜徘徊ですとか、そういった部分での少年の補導件数というのは、実は警視庁一番です。綾瀬警察署ですね。それぐらい警察署長が、綾瀬管内の、特に少年に対しては力を入れてやっているという形で、今後もちっとそういう形をやっていくということは聞いております。

事件にならないものにつままして、例えば学校で粗暴行為を行って、親ももう看護能力がないだとかというものにつまましては、児童福祉法の中で、身柄送致というのがあります。これはもう家庭ではもう看護能力がないので、一時的に児童相談所に預けて、親と引き離して強制させるという措置もあります。

いろいろちっとやり方はあると思うのですけ

れども、学校ともやっぱり連携をしながら、どういうお子さんが悪くて手に負えないかというのは、きちんと連携をしながら、手に負えないものであれば、そういった身柄の送致ですとか、あるいは書類で、定期的にそこの引き離しまではしなくても、定期的に家庭と、あと児童相談所の方で連携しながらやったりですとか、そこに警察も当然入ってるんですけれども、そういった形で、今後もちっとやっていければなというふうに思っております。

○伊藤のぶゆき委員 綾瀬警察が一生懸命やってくれてる話は地域でも聞いてます。だから、先ほど一番冒頭で難しい質問ということをやったのですが、子どもたちは学校に来るんですよ。話もする。飲酒してるのか、喫煙してるのかとすると、それをしてるのは先輩たちがしている。先輩というのは高校1年生とか2年生ですよ。そういった方々はもう家の中でしちゃってるので、家の中は無法地帯状態になっている。そこに親はいない。

ある家の例で、例えばそこにおばあちゃんがいる、おばあちゃんが、そういう家庭なので、多分おばあちゃん子で過保護で育ててしまっている、友達が来ても部屋を明け渡してしまう。夜中どんちゃん騒ぎするので周りには声が漏れてくる。警察が出動すると、家の中で注意はするけれども、いなくなればやめはしない。という状態が、この半年ぐらい続いています。

です所以说ったように、粗暴行為とか犯罪行為みたいな、学校も来ないとか、ネグレクトみたいなことが起きれば、すぐに児相もあるのですが、親は児相にしようがないと思っていても、おばあちゃんが家にいるもんだから児相にも振れないと。

相当なかなか難しい問題なので、これについては、地域とどういふふうに連携をして、その子たちを止めるのかということもあるのですが、



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

少しもう少し力を貸していただきたいというか、決定的に本当に悪いことというか、そういうことをすれば、こういうペナルティーがあるんだということを子どもに教えてあげることも、やっぱり親としては大人としての役目としてはあると思いますので、ちょっとこれに関しては御協力いただければと思います。

あともう1件、これはしつこく言いますが、この間防犯登録の防犯キャンペーンしてるときにへんみ委員ともしゃべってて、防犯抑止担当課長もそのとおりですねと言うんですけども、特殊詐欺で5億円もプラスになってるじゃないですか。こんな還付金詐欺だなんだという中の内訳に警察官かたり詐欺を入れてほしいんですよ。

あのときも警察の署長だか、係長だか分からないですけども、オレオレ詐欺が増えてますとは言うのですが、警察官をかたる詐欺が増えてますとは言わなかったんですよ。警察官もなかなか言いたくない気持ちもあるんですけども。

多分このオレオレ詐欺の中の、息子や孫に成り済ました詐欺に加え、警察官を名のって金銭等をだまし取る手口も含むということですけども、多分、大分そっちの方が多いのではないかなと思うんですね。思うので、こんだけ還付金詐欺だとか何とか詐欺だとか、預貯金詐欺だとかという内訳があるのであれば、やっぱりこの警察官かたり詐欺が何件あって、どれぐらいの被害があるのかというのは、やっぱり行政も我々も把握をしておくべきだし、もしそれが多いのであれば、やっぱり区民の方々に徹底的に周知をしてあげないと、やっぱりこのオレオレ詐欺だけでは、前も話したように、何か昔のオレオレという詐欺だと思ってしまうので、是非この細かいことかもしれないけれども、やっぱりこの警察官かたり詐欺という名前がいいのかどうか分からないですけども、やっぱり圧倒的に警察官をかたってお金を取っているという詐欺が増えてるということを周知するため

にも、もう一度警察と話していただいて、内訳に入れていただきたいなと思います。どうですか。

○犯罪抑止担当課長 これはちょっと警視庁の本部がちゅと絡んでるところもありますので、対外的に出せるかどうかというのは、一その私個人の判断ということもちょっとできませんので、警視庁本部の中でちょっとお話をする中で、出してもいいよという話であれば出させていただきますし、そこはちょっと検討させてください。

○伊藤のぶゆき委員 犯罪抑止担当課長の範囲ではないの分かってます。是非言ってください。それで本部が出しちや駄目だというんだったら、警察官はあんまり考えてくれてないんだなという話、私は個人的に判断します。これは是非でもやった方がいいですよ。絶対にやった方がいいですよ。ちょっと言ってみてください。

○渡辺ひであき委員長 ほかに。

○岡安たかし委員 私はN祭について、毎年4回ですかやっていたいて、85団体ですか、かなり所管の方も御苦労されて、本当にありがとうございますと言いたいのですが。

ここの2ページの来場者数減少についての考察のところにも書いてありますが、ちょっと減少してきてる。そして、(1)は、音楽会が行われたって、だって去年だってこの時期やってますから、音楽会が今年だけそこに集中したとも思えませんが、同じ時期にN祭やってますので、あんまりこれは理由にならないのかなと。ただ、2番、(2)に関しては要因になってるのかもしれないのですが、今年はチラシはゼロだったのでしょうか。

○SDGs・協創推進課長 チラシ当日配付のは刷っていたのですが、学校たちに配布することとはしておりません。

○岡安たかし委員 C4thのみでこうなっちゃったというところでは、やっぱり削減は分かるのですが、来場者数が減になる要因になったと

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

考えるなら、一定程度残す必要もあるのかなと、私は思います。なかなかおじいちゃん、おばあちゃんなんか一緒に住んでると、子どもがしっかりそういうのC4t hとか、保護者も伝えない限り、紙なんかテーブルに置いとくと読む時ありますのですね。

あとその次のページの今後の方針のところ、4か所周遊イベント、私も行かせてもらって、ちょっと3年前がどうだったのか覚えてないのですが、去年はまだ明確に覚えてます。去年と今年と行かしてもらった記憶が明確にあるのですけれども。

周遊イベントということで、去年、そして今年はまた同じだなあという感じと。なんだろうなあ、ここにも書いてあるけれども、毎年楽しみにしてる一方で、何かこう固定化しちゃっている来場者が、という感じは確かにするんですよ。あんまり東の方とか西の、特に西の端の方とかからは来ないだろうなど。

去年は、私、スムーズに車止められた、ちょっと車で、去年も今年も言ったんですけども、今年のはかなり苦労しまして、2周しました。満車、満車で近辺が、15分ぐらいぐるぐる探してようやく同じ場所だったんですけども、たまたま1台そこどいたんでしょね。空いてて止めたのですが、車で来られない、来られないというか、来にくい場所だなというのがまず1点。

それと梅田地域に根差したイベントとここに書いてあるとおり、梅田地域に根差してる感じになっちゃってるんですね。雰囲気的に。やっぱりここに書いてある開催場所や時期の変更も含めて検討していくということで、今後、少しこれ当然NPOが主催ですので、NPO団体の意見というのを重要視しなければいけないと思うのですが、やはりこの場所ではもうそろそろ違う場所でもという意見があれば変えていく必要があるのかなと思うのですが、今後どういう方針なのでしょう。

○SDGs・協創推進課長 岡安委員のおっしゃるような意見も実際出店者の方からも出ております。参加者はやっぱり固定化しているため、本当に開催場所、どこがいいとか、本当にこの回遊型、周遊型をやめて1か所にまとめるべきなのかというのを改めて団体の方に今アンケートを取ろうと準備を進めております。その結果を見て検討していこうと考えております。

○岡安たかし委員 足立区もってNPOあると思うのですけれども、大体去年も今年も、これぐらいの数ということで、ほかはあんまり活動してないのか、もともとあんまりこういうところにはなじまないNPOなのか、その辺はどういう見解でしょうか。

○SDGs・協創推進課長 現在センターに登録している団体数の数自体は多いのですが、団体の規模、人数が3名とか、やっぱりこのイベントをやるのが体力的に厳しいという団体も正直多いところです。なので、もうちょっとそういう方々が参加しやすいような工夫も考えるべきなのかなと思っております。

○岡安たかし委員 議会の質問でも様々な議員の皆さんが、NPOと連携しとか、NPOに活用してはどうかとか、いっぱいそういう質問出てきます。それぐらいNPOというのは、各自治体でも、町会・自治会とはまた別の、そういう組織として頼ったり、また利活用の価値があるというすごい横柄ですけども、それだけのものが資源としてあるということなのだと思います。

本当に視察行ったときに、どこどここの市とか、そういうところなんかは、もう本当にNPOというのがすごい活躍して、子育てあるいは介護とか、そういうところで活躍してもらってるような、そういう場面というのも見聞きしてきました。

足立区にもやっぱりいろいろなNPOがあって、それなりに活躍していただいている。これをもっと本当に区民の皆さんが知ってもらって、またこ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

ういうところがあるなら、私のこういう課題にもひょっとしたらつながるのではないかと思ってもらえる、この機会になるって大事だと思うんですね。

最初のところに、多くの方が来場しNPOを知り体験する機会を創出できたと書いてあるのですが、なかなか私も去年も今年もそうすけれども、NPOを知るところではまだまだ不十分かなとブースみたいな回っててね。何かやっぱりイベントやって、何か楽しく飲んだり、食べたりとか、中にはちゃんと話してる人もいましたよ。じっくりNPOの方の人も話してくるし、いろいろなこういうことやってるNPOなんですここのブースはと言って、話して、そうだったんですねみたいな人もいましたけれども、多くの人は何か、特に若い人なんかは素通りしちゃってるかなという感じするんです。

なので、しっかりやっぱりここの趣旨である、知ってもらい体験する機会、もうちょっと分かりやすくやってもらえればなと思うのですけれども、この辺いかがですか。

○SDGs・協創推進課長 各ブースの出展内容は考えてるのは各団体でございます。やっぱり知ってもらおうというのにすごく重きを置いてしまうとパネル展示だとか、もうその会話だけになってしまいます。それになると次は人が来なくなるという、すごい今難しいなどは考えております。でも、もう少しその幅広い方に知っていただけるように、開催場所や時期とか、少し会場の雰囲気とかもつくれるようには工夫していきます。

○岡安たかし委員 最後に。このNPOのN祭ですよ。今回、あだちN祭2025、私が歩いてるときに、小学生ぐらいのお子さん、低学年のお子さんとお父さんが、N祭って何と言って、あだちN祭何だろうね、日本ではないのと、あだち日本祭りだよみたいなこと言ってて、なかなかやっぱり難しいなというのがあったのですけれども。

いずれにしても、やっぱりNPOの皆さんも、やっぱりこういう場があって、うれしいと思っているでしょうし、本当にこのNPOの方が、これをきっかけに、更に自分たちの活躍の場が広がったというような形にしてもらいたいと思いますので、より良いイベントにしてもらいたいと思います。

そういう意味では周知がすごい大事だと思うのです。結構知らなかったですこれ。私近づいたときに、ちょっと東エリアで青井とか綾瀬のエリアなので、関心ない人もいたのかもしれませんが、町会でもほとんど、そんなのあるのぐらいい感じ、やっぱり何か周知難しいんですけどもね、やっぱり事前の周知しっかりすればまた行ってみようかということにもつながると思うので、この辺もまた要望ですけれども、よろしくお願いします。

○渡辺ひであき委員長 他に質疑ございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○渡辺ひであき委員長 以上で総務委員会を終了いたします。

午前11時32分閉会